

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI祖師ヶ谷大蔵教室

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づいて用途変更を行い、十分なスペースを確保している。児童の目線で危険な所には、マットやクッションを置いて予防している。	
	2 職員の配置数は適切である	配置されている職員の数に則った定員で常時運営を行っている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	バリアフリー化や情報伝達等への配慮を適切に行っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	窓を開けて室内の換気や道具の消毒の他、毎日掃除を行って清潔な空間作りに日々努めている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	毎日のミーティング時にヒヤリハットの確認を取り、職員全員で把握を行っている。また、個別支援計画に基づき、指導員全員で教室終了後にも振り返り・対策を行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	保護者向け評価表は毎年実施し、計画的に改善を行っている。必要に応じ、保護者の方へ直接説明や改善内容をお伝えし、その内容を職員間で共有している。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	毎年度ホームページで公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		現在第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じて検討していく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	内部研修の他、外部研修にも参加し、全員周知・把握に努め、療育支援に繋げている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	児童の様子や保護者の要望を確認しながら面談を重ね、児童発達支援計画を作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	標準化されたアセスメントツールをもとに作成している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	児発管と保護者の話し合いを行い、「発達支援」「家族支援」に重点を置いて適切に選択し、具体的な支援内容を設定している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	支援計画の更新に合わせて職員の資料も更新・共有するだけでなく、教室開始前に都度計画や目標を確認して適切な支援の提供を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	全職員で話し合い、プログラムの立案を設定している。	
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	定期的イベント開催を予定し、児童達と目標や計画を立て、イベント内容に沿った練習に取り組んでいる。同じプログラムでも児童の様子・習熟度に合わせてルールを追加し、固定化させない工夫をしている。		

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI祖師ヶ谷大蔵教室

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	契約時に適性を見極め、クラス設定を行っている。児童の成長度合いに応じ、年度替わりのクラス変更時には職員だけでなく、保護者や児童の意見も取り入れて行っている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	支援開始前に毎日必ずミーティングの時間を確保し、全員で支援内容や支援の方法、役割分担を確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後に毎日必ずミーティングの時間を確保し、児童一人一人について気付いたことや改善点を職員間で共有し、資料としてまとめている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	児童一人一人についてミーティングを行い、情報記録用紙を更新し、次の支援に繋げている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	定期的に保護者、児発管、指導員とミーティングを行い、計画見直しの必要性を判断している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	児発管と現場指導員マネージャーで担当者会議等に参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	保護者から要請があった場合、必要に応じて園や学校へ訪問を行っている。	連携が少ないため、今後必要に応じて検討していく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		当事業所には、医療的ケアが必要な子どもは通所していないが、今後必要に応じて連携できる体制を整えていく予定。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		当事業所には、医療的ケアが必要な子どもは通所していないが、今後必要に応じて連携できる体制を整えていく予定。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		当事業所は送迎がないこともあり、保育所や園との情報共有は行っていない。その代わりに、保護者から間接的に情報をもらうことがあるので、今後必要に応じて連携を検討していきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	過去に実例があるが、保護者からの依頼があれば、すぐに学校等に資料を送る体制はできている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	区市町村(三鷹市・練馬区等)が運営する公開研修・療育セミナーに参加し、積極的に情報収集を行っている。また、研修内容をスタッフ間で共有している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施していない。また保護者からも必要との声が聞こえてこないため、今後必要性を検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	各自治体の方針によって参加の有無が異なっているが、当事業所では年に2回、管理者が出席している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	保護者から相談を受ける等家庭での必要性に応じて、面談や振り返りの際に個別に伝えている。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しており、支援の内容は様々な状況で説明している。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI祖師ヶ谷大蔵教室

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	定期的に保護者と面談をし、支援計画を作成・説明を行って同意をいただいている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	日頃から指導員や児発管が悩みを聞き出すようにお声掛けし、助言や支援を行っている。保護者の方から相談があった場合には面談で聞き取りを行い、支援に注力している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	父母の会はないが、当事業所は保護者の待機、見学スペースを設けており、そこで保護者同士で交流などを行っている。(但し、一部の保護者は希望しない方もいるので慎重に対応したい)	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	迅速な対応を心がけており、1週間以内には対応している。今後も契約時等に苦情の連絡方法を伝えたり、苦情になる前に保護者の様子を察知し事前対応していく。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	イベントや活動内容を配布物等で周知している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	持ち出しがないよう周知徹底している。個人情報と思われる資料は、シュレッダーを掛けたり、施錠できる書庫の中に保管している。フィードバック時の個人情報は、保護者の要望に応じて他の者から距離をとる等の取り組みを行っている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	反応を見ながら、絵カードや運動道具を用いて配慮している。必要に応じ検討・増やしていく予定。また、保護者には文書として渡す等の配慮を行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく予定。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	左記マニュアル類はできており、見える場所に置いて保護者へ周知しているが、より多くの方に認識していただけるようお知らせしていく。児童には不審者や災害時の訓練を通して防犯・防災の知識を繰り返し伝えている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	職員間では、定期的に役割分担や流れを確認し、意識統一をしている。訓練は地震や火事、不審者を想定し、児童を交えて実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約面談時のフェイスシートと定期的な面談により確認している。変更があった場合は随時情報提供していただいている。場合によっては保護者に教室内で見学していただき、迅速に対応できるよう努めている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	契約面談時のフェイスシートと面談により、食物アレルギーの聴取をしている。一覧表を作成し、施錠できる書庫内に貼り出して職員一同気を付けている。イベント時に配布する菓子類は、アレルギー源を含む食品を避けるようにしているが、漏れがないようにイベント前には保護者にアレルギー有無の確認を徹底している。医師の指示書は必要に応じて検討していく予定。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI祖師ヶ谷大蔵教室

45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	業務終了後のミーティングで当日ヒヤリハットがなかったか全員に聞き取りを行い、あれば原因・対策まで共有をしている。また、記録をファイルにまとめ、同じことが起こらないように職員が閲覧できるようにしている。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	虐待防止の研修に参加し、参加者が講師となり全職員に講習している。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	組織的に決定しており、児童や保護者へ契約時に必ず説明し、了承を得ている。現在、当事業所において拘束等は行われていない。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI祖師ヶ谷大蔵教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	0	0	0	待ったり、引き渡したりする場所が屋内にあるとより良い。	ご意見ありがとうございます。申し訳ありませんが、スペースの都合上屋外でのフィードバックと児童のお引渡しをさせていただいております。ご理解の程よろしく願いいたします。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	25	3	0	0	①面白いことで気分を持ち直す以外でも、自分で考えて気持ちの切り替えができるようにしてほしい。 ②理学療法士がいると、より専門的に見てもらえると思う。 ③女性が一人以上いるシフトだとありがたい。先生方の言葉は信頼しているが、今は様々はニュースがあるので、防犯上安心できる。 ④素晴らしいです。コミュニケーションの促し方や関わり方の専門性が高い。	①自分で自身の気持ちを切り替えられるような声掛けや対応も、今後ステップアップという形で導入していきたいと思えます。 ②様々な資格や専門分野をもった職員の配置に努めてまいります。 ③現状では女性職員を毎回1名以上入れることは難しいのですが、今後は女性職員の配置を増やして保護者様にも安心していただけるよう努めてまいります。 ④ありがとうございます。更なる向上を目指し、日々研鑽を重ねてまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	25	0	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	28	0	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	27	0	0	1		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	27	0	0	0	計画はもちろんのこと、都度対応していただき、本当にありがたいです。	ありがとうございます。更なる向上を目指し、日々研鑽を重ねてまいります。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	27	0	0	1		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	4	9	7	必要性を感じていないので問題なし。	ご意見ありがとうございます。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI祖師ヶ谷大蔵教室

保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27	1	0	0		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	27	0	0	1	目標に対して現在の到達点がどこにあるのか、達成度が見れると良い。	ご意見ありがとうございます。到達度の評価の方法や、どのように開示するか等前向きに検討させていただきます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	14	3	4	7	寄り添って頂き、いつもありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	25	2	0	1	最小限にはできている。	フィードバック時等お話をさせていただく際にお子様の成長や課題について触れ、共通理解を図れるように努めてまいります。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	0	1	2		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	3	11	10	必要性を感じていないので問題なし。	ご意見ありがとうございます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23	0	0	4		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	0	1	0	①フィードバックが子どもの居ないところで行われるのはいいところだと思う。 ②活動後の報告の際、他の保護者の方に話を聞かれないよう配慮してくださる先生がおり、ありがたいです。 ③LINEがあって便利。	①お子様たちが評価を気にせずのびのびと運動できるように、今後ともフィードバックはお子様と離れた場所にてさせていただきます。 ②フィードバック時には他の方に聞かれることがないように、距離を取る等工夫に努めてまいります。 ③今後とも引き続きLINEを活用させていただく予定です。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	19	2	1	4	行事(イベント)が増え楽しく通所させて頂いております。	お子様たちが来所を楽しみにできるように、また、お子様たちが季節を感じ、喜び豊かな人生を歩めるように季節に沿ったイベントに取り組んで行きたいと考えております。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	22	1	0	3	フィードバックは他の保護者に聞かれないよう配慮してほしい。	フィードバック時には他の方に聞かれることがないように、距離を取る等工夫に努めてまいります。
非常時等	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	23	0	1	2		

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI祖師ヶ谷大蔵教室

の 対 応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	0	0	2		
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	21	4	0	0	①行き渋りはないですが、あまり前向きではありません。 ②楽しみにしています。	①お子様たちが運動を楽しめるように、イベントや運動メニューの工夫に努めてまいります。 ②更なる向上を目指してまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	25	1	0	0	①先生方皆様に感謝しております。 ②平日もう少し遅い時間があれば、もっと通わせやすい。 ③満足。	①③更なる向上を目指してまいります。 ②サービス提供時間に関しまして、法改正に基き変更する予定です。委細決定次第皆様に周知いたします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI祖師ヶ谷大蔵教室

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。 集団クラスで児童が多い時は、グループ分けをし、運動量が確保できるように工夫している。スペースを最大限利用出来るよう環境配置に気をつけている。	
	2	職員の配置数は適切である	配置されている職員の数に則った定員で常時運営を行っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	段差など危険がある場所では、転倒や事故がないよう声掛けや人的サポートを行う配慮している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	毎日業務前・業務後のミーティング時に、個別支援計画に基づき、指導員全員で振り返りを行い、次回の療育に繋げる対策を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	保護者向け評価表は毎年実施し、計画的に改善を行っている。必要に応じ、保護者の方へ直接説明や改善内容をお伝えし、その内容を職員間で共有している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	毎年度ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		現在第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じて検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	内部研修の他、外部研修にも参加し、全員周知・把握に努め、療育支援に繋げている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	児童の様子や保護者の要望を確認しながら面談を重ね、個別支援計画を作成している。 職員間で話し合いを行い、ニーズや課題を達成できるよう取り組んでいる。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	標準化されたアセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。初回、半年以降、1年の期間で情緒面や運動面のアセスメントシートを作成している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	全職員で定期的に会議を行い、児童の様子も鑑みてプログラムを立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	定期的にイベント開催を予定し、児童達と目標や計画を立て、イベント内容に沿った練習に取り組んでいる。同じプログラムでも児童の様子・習熟度に合わせてルールを追加し、固定化させない工夫をしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	当事業所は、長期休暇時もサービス提供は平常時と変わらないため特別な課題は用意していないが、長期休暇期間にはイベントを実施している。	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	当事業所は個別クラスと集団クラスが設けられているため、契約時に適性を見極め、クラス設定を行っている。児童の成長度合いに応じ、年度替わりのクラス変更時には職員だけでなく、保護者や児童の意見も取り入れて行っている。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI 祖師ヶ谷大蔵教室

関係機関や保護者との連携	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	支援開始前に毎日必ずミーティングの時間を確保し、全員で支援内容や支援の方法、役割分担を確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後に毎日必ずミーティングの時間を確保し、児童一人一人について気付いたことや改善点を職員間で共有し、資料としてまとめ、次回の支援に繋げている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	児童一人一人についてミーティングを行い、情報記録用紙を更新し、次回の支援に繋げている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	定期的に保護者、児発管、指導員とミーティングを行い、計画見直しの必要性を判断している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	総則通り行っている。それぞれの基本活動を児童一人一人に組み合わせながら支援を行っている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	児発管と現場指導員マネージャーで担当者会議等に参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		当事業所は送迎がないこともあり、学校との情報共有は行っていない。その代わり、保護者から間接的に情報をもらうことがあるので、今後必要に応じて連携を検討していきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		当事業所には、医療的ケアが必要な子どもは通所していないが、今後必要に応じて連携できる体制を整えていく予定。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		当事業所は現在保育所や園との情報共有は行っていないが、放課後等デイサービスや保険対象外の療育施設との情報共有や相互理解は要望があれば行っている。保育所や園に関しては今後、必要に応じて検討していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	過去に事例はないが、資料を提供できる体制は整っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	区市町村(三鷹市・練馬区等)が運営する公開研修・療育セミナーに参加し、積極的に情報収集を行っている。また、研修内容をスタッフ間で共有している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施していない。今後必要に応じて検討していく。 次年度からは地域との交流を強化していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		今まで参加したことはないが、協議会の内容や職員の勤務体制などにより、参加を検討していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭の様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。また、保護者からのご意見・ご要望があれば随時対応できる体制があることを保護者へ周知している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	保護者から相談を受ける等家庭での必要性に応じて、面談や振り返りの際に個別に伝えている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI祖師ヶ谷大蔵教室

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しており、支援の内容は様々な状況で説明している。更新がある場合はその都度ご説明をしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	日頃から指導員や児発管が悩みを聞き出すようにお声掛けし、助言や支援を行っている。保護者の方から相談があった場合には面談で聞き取りを行い、支援に注力している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	父母の会はないが、当事業所は保護者の待機、見学スペースを設けており、そこで保護者同士で交流などを行っている。(但し、一部の保護者は希望しない方もいるので慎重に対応したい)	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	契約時をはじめ、面談等の際にも苦情の連絡方法を伝えている。これまで苦情になる前に保護者の様子を察知して事前に対応していたが、今後より一層迅速な対応を努めていく。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	イベントや活動内容を配布物等で周知している。	
	35	個人情報に十分注意している	持ち出しがないよう周知徹底している。個人情報と思われる資料は、シュレッダーを掛けたり、施錠できる書庫の中に保管している。フィードバック時の個人情報、保護者の要望に応じて他の者から距離をとる等の取り組みを行っている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	反応を見ながら、絵カードや運動道具を用いて配慮している。必要に応じ検討・増やしていく予定。また、保護者には文書として渡す等の配慮を行っている。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく予定。	
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	左記マニュアル類はできており、見える場所に置いて保護者へ周知しているが、より多くの方に認識していただけるようお知らせしていく。児童には不審者や災害時の訓練を通して防犯・防災の知識を繰り返し伝えている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	職員間では、定期的に役割分担や流れを確認し、意識統一をしている。訓練は地震や火事、不審者を想定し、児童を交えて実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	虐待防止の研修に参加し、参加者が講師となり全職員に講習している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	マニュアルも作成し、組織的に決定しており、児童や保護者へ契約時に必ず説明し、了承を得ている。現在、当事業所において拘束等は行われていない。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI祖師ヶ谷大蔵教室

の 対 応	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<p>契約面談時のフェースシートと面談により、食物アレルギーの聴取をしている。一覧表を作成し、施錠できる書庫内に貼り出して職員一同気を付けている。イベント時に配布する菓子類は、アレルギー源を含む食品を避けるようにしているが、漏れがないようにイベント前には保護者にアレルギー有無の確認を徹底している。医師の指示書は必要に応じて検討していく予定。</p>	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<p>業務終了後のミーティングで当日ヒヤリハットがなかったか全員に聞き取りを行い、あれば原因・対策まで共有をしている。また、記録をファイルにまとめ、同じことが起こらないように職員が閲覧できるようにしている。</p>	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI祖師ヶ谷大蔵教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	44	2	0	0	子どもへの配慮と事務処理を兼務されているため、若干事務処理が後手に回る。	効率のよい運営に努めてまいりますが、お子様たちの安全を第一に考えておりますので、保護者様をお待たせしてしまうことがあるかと思いません。ご理解の程よろしくお願いたします。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	35	5	0	6	配置数は適切だと思いますが、専門性はわかりません。	指導員への研修により職員全体の専門性や知識の底上げと、社内で統一感のある対応を目指してまいります。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	7	5	13	玄関が狭い。扉の開閉の時にヒヤツとすることが多い。	扉の開閉は注意深くゆっくり行うようにし、お子様たちにも注意を促すようにいたします。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	43	2	0	1		
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	44	2	0	0	①いつも工夫がなされていると思う。 ②日々の活動と計画がどのように結びついているのかがみえにくい。	①今後とも工夫に努めてまいります。 ②フィードバック時に支援計画と絡めてお話しするように努めます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	3	22	16	①なくて良いと思う。 ②水泳や陸上などの習い事でのみ。	①②ご意見ありがとうございます。
保護者 への 説明	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	45	0	1	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	42	3	1	0	①よく話を聞いていただいている。 ②面談時のみ。 ③支援員の知識・力量に差を感じる時がある。	①②ご意見ありがとうございます。フィードバック時からお子様の成長や課題に触れ、共通理解を図れるように努めてまいります。 ③指導員への研修により職員全体の専門性や知識の底上げと、社内で統一感のある対応を目指してまいります。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	42	1	1	2	①2回程度/年。 ②面談は行われている。活動報告をもっと聞きたい。	①②指導員への研修により職員全体の専門性や知識の底上げと、社内で統一感のある対応を目指してまいります。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	3	26	13	なくて良いと思う。	ご意見ありがとうございます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	5	0	19	①そのような状況になっただけではないからわからない。 ②特に苦情が無いので、あったときどうかはわからない。 ③苦情があったことが無いのでわからない。	①②③ご意見ありがとうございます。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI祖師ヶ谷大蔵教室

明等	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	43	3	0	0	LINEをつかい情報伝達の手段は広がったが、内容が一面的である	LINEは現状イベントの周知や出欠確認のためのツールとして利用しております。大切なお子様のことで、フィードバックや面談の際に、顔を合わせて双方向でのやり取りを意識し、お子様の成長や課題について共通認識が持てるようにいたします。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	29	3	3	11	①確認不足ですみません。 ②ライン上で丁寧なイベント説明などが行われている。 ③会報やHPはないと思われる。コロナの影響で見学がないため子どもの様子は口頭での報告のみ。	①②③現在、TAKUMI祖師ヶ谷大蔵教室のHPや会報はありませんが、LINEでのイベント内容の発信や出席の確認を行っております。コロナも下火になり見学のご案内もLINEにて再開しております。ぜひご利用くださいませ。
	14	個人情報に十分注意しているか	28	2	0	6	フィードバックは他の保護者に聞かれないよう配慮してほしい。	個人情報に配慮し、フィードバック時には他の方に聞かれないように、距離を取る等工夫に努めてまいります。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	40	4	2	0		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	46	0	0	0	子どもに確認すると実施されているとのこと。	TAKUMI祖師ヶ谷教室では、年に1度の不審者訓練と年に2度の防災訓練を実施しております。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	42	3	1	0	①いつもありがとうございます。感謝です。 ②先生方に会えるのを楽しみにしている。	①②ありがとうございます。職員一同更なる向上を図ってまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	41	4	1	0	①大満足です。 ②個別アセスメントに対してアプローチしていくというより、運動を楽しむ場所にとどまっている。 ③活動に広がりがあったように思います。	①③更なる向上を目指してまいります。 ②運動を通して、お子様たちが自身の課題に向き合い、克服していけるような運動メニューや対応に努めてまいります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。